市議会定例会開く

斎藤善蔵氏の助役選任に同意

収入役には上山忠夫氏

教育長に篠崎光太郎氏再任

日光市議会定例会が九月十七日から二十九日まで開かれ、市助役や収入役の選任同意など十四議案、請願七件などを審議、議案についてはいずれも原案どおり可決されました。

専決処分の承認

栃木県市町村職員退職手当組合に芳賀郡中部環境衛生事務組合と大田原地区広域消防組合が加入することとなったため、退職手当組合の規約の改正を行なうため、市議会の議決が必要とされたものです。

助役・収入役・教育委員の選任

本年六月大島光吉氏が任期満了により空席となっていた助役に、市総務課長斎藤善蔵氏の選任の同意が、また九月三十日任期満了で退任された手塚通太収入役の後任には市都市計画課長上山忠夫氏の選任の同意が、同じく九月三十日任期満了である教育委員会委員については、篠崎光太郎氏の再任の同意が、それぞれ満場一致によって決定しました。

交通指導員の報酬の決定

十月一日から市内の通学児童等の朝の交通安全を確保するため交通指導員が設置されましたが、その指導員のかたがたの報酬額を決定する手続として関係条例の改正が行なわれました。

山内に市営駐車場設置道路と市道に編入

さきほど山内地区の浩養園内に駐車場が新設され、これを市営として運営してゆくために条例が改正され、また駐車場へ到達するための道路を市道（七六二号山内浩養園線）として認定することが決められました。

44年度霧降リフト会計決算

四十四年度霧降高原リフト事業会計の決算が認定されました。決算額は収入が二、八五七万五、七〇五円。支出額三、六二六万二、八一六円で冬の降雪不足のため、七六八万七、一一一円の欠損となりました。

44年度水道事業会計決算

四十四年度水道事業会計の決算が認定されました。決算額は収入六、五九〇万九、九二四円支出額が五、一三五万九、二七二円で一、四五五万〇六五二円の純利益がでました。

45年度一般会計補正予算

一般会計の補正予算として、交通安全対策費一一三万八千円公営住宅建設費追加分七一五万円、日光中学校整備費追加分に五一七万二千円など、他に都市計画費において更正されるものと差引合計五八七万七千円が追加されて、一般会計の予算総額は九億四、六四一万四千円となりました。

その他

以上の案件のほか、市内の一部の字（あざ）の名称が変更されること、公有水面（中禅寺湖の一部）が県当局によって駐車場が建設されるため埋立てることについての地元日光市議会の意見を求められていたことに対し、これに同意することと決められたことや観光開発の促進と自然美の保護に関する意見書を提出することについてなどが慎重に審議され、それぞれ原案のとおり決定されました。

この外請願が七件審議され、必要な手続がとられました。

本議会で審議された請願・陳情の経過

今度の市議会へ新らたに提出された請願は七件でしたが、前回からの継続審査のものもあったので、それらを含めての審査された状況は次のとおりです。

◎採決されたもの

▲市道舗装・橋梁の架設並びに防火貯水槽の改修に関する請願

▲七里上野地区から野口地区に通ずる市道改修に関する請願

▲市道新設に関する請願（東和町と所野地区二件）

▲測量の整備に関する陳情

▲防火貯水槽新設に関する請願

◎継続審査となったもの

▲高齢失業者等就労事業の実施を求める請願

▲失業対策事業制度の存続と改善を求める請願

▲防犯灯増設に関する請願

手塚収入役退任

一般職から通算二十九年

日光市収入役手塚通太氏が九月三十日付で任期満了により退任しました。

氏は、昭和十六年七月三十一日に当時の日光町役場に奉職、昭和二十四年に観光課長、三十三年議会事務局長、選挙管理委員会書記長、三十五年経済課長、農業委員会事務局長等を歴任、四十一年十月収入役に就任されました。

（大正三年八月生れ、現住所・市内松原町二八二）

斎藤善蔵氏の略歴

昭和二十二年　東京工業大学建築学科卒業

昭和二十三年　日光中学校教諭任命

昭和二十五年　今市高等学校教諭任命

昭和二十六年　日光町職員に採用、土木課勤務

昭和二十八年　水道課資材係長

昭和三十年　建設課土木係長

昭和三十三年　建設課長補佐

昭和三十九年　水道課長

昭和四十五年　総務課長

昭和四十五年　日光市助役に就任

市役所人事異動

十月一日付（　）内は前職

総務課長　北村豊彦（小来川支所長）

都市計画課長　岸野節男建設課長兼務

小来川支所長　星野喜四郎（農林課農務係長）

清滝出張所長　名古屋恒頼（観光課主幹）

農林課農務係長　村上祐一（農務係主査）

退職　小平　勇（清滝出張所長）

毎月清掃しましょう

15日は職場の清掃日

第3日曜は家庭

日光市市民憲章推進委員会